



57 御紋付七宝鶏に秋草図花瓶
 瀧川惣助 明治期(20世紀初頭) 七宝 各径18.6、高42.3

瀧川惣助(1847~1910)は明治期を代表する七宝家として知られ、優れた作家の栄誉である帝室技芸員にも任命された。宮内省の製作依頼を数多く請け負っていたとみられ、本作のように御紋付の作品が現存している。数々の七宝釉薬を調整して柔らかな色合いを生みだし、繊細な花鳥画の風韻をみごとに表している。



裏面

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出版を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

若梅に撫子——旧高松宮家と伝来の品々

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 62

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成二十五年三月二十六日発行

© 2013, The Museum of the Imperial Collections